

コロナ感染対策 大会運営ガイドライン

5月5日 チーム対応追記（P6～P7）

2021年3月
一般財団法人神奈川県バレーボール協会

本件に関する問い合わせは、下記までお願いします。
メール：refhide620aki@r4.dion.ne.jp 専務理事 田代英明

大会運営ガイドライン

【準備するもの】 個数は主催者で判断願います。

- 非接触型体温計
- 除菌剤（手指用、用具用）、除菌用ウェットティッシュ
控室、更衣室、シャワールーム、アリーナ入場口、トイレなどにポンプ式の除菌液を設置する。
- ペーパータオル
- 手袋（つけるときに切れることがあるので大き目のサイズを準備する）
- 予備マスク
- フェースシールド

I 大会前及び入場時

- 1 役員・選手は2週間前から検温を行い「健康チェックシート」に記載をし、大会当日提出する。2週間の間に発熱があった場合は、大会に協力・参加は見合わせる。また、下記の項目に該当する場合は参加を見合わせる。

- 同居家族や身近な知人に感染が疑われる方がいる場合
- 直近14日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航又は当該在住者との濃厚接触がある場合

体育館内（入場するとき）ではマスクを着用する。マウスシールドのみの着用は禁止する。

※ 主催者は「健康チェックシート」を事前にチームに郵送するか HP からダウンロードできるようにしておく。また大会当日も準備しておく。

※ 万が一感染が発生した場合に備え、個人情報の取り扱いに十分注意しながら、参加当日に参加者より提出を求めた情報について、保存期間（少なくとも1カ月以上）を定めて保存しておくこと

- 2 大会当日、体育館入口で検温・消毒を行う。検温の際、**37.5 度以上あった場合は、体育館に入ることはできない。**

※ 主催者は非接触型の体温計を準備しておく。

※ 検温をする役員を配置する。

※ 受付・検温をする役員はマスク及びフェースシールドと手袋を着用すること。
（使用した手袋はゴミ袋に捨てる。手袋を外した後は手指を除菌する）

※ 体育館の入口は比較的に密になりやすいので対策を講じる事。他の参加者、主催者スタッフ等との距離（できるだけ2mを目安に、最低1m）を確保すること（障がい者の誘導や介助を行う場合を除く）

- 3 大会には選手以外（家族など）は原則参加できない。小学生等の大会で保護者等が体育館に入場する場合は人数制限を設けて全員が「健康チェックシート」に記載し、大会当日提出する。

※ 上記についてはチームに周知する。

- 4 大会終了後2週間以内に新型コロナウイルス感染症を発症した場合は、主催者に対して速やかに濃厚接触者の有無等について報告すること。

Ⅱ 大会運営

- 1 チームベンチは1つおきに置き（ルール通りに置く必要はない）、極力背中合わせにならないようにする。
※ ベンチに座るスタッフ及び控えの選手はマスクを着用する。
- 2 開会式は原則行わず、密にならないようにし、チームが体育館に来る時間を指定（試合時間に合わせて）する。
※ 大会プログラムに試合予定時間を記載するなど対応する。
※ マイクを使用した場合は、使用後除菌する。
閉会式は最小限の人数で行い、整列する場合は間隔を開ける。表彰者はマスク、手袋を着用する。
- 3 体育館及び控室は定期的に換気をする。
- 4 観客席からアリーナに入る場合、アリーナを出る場合、手指の消毒をする。
※ アリーナの入り口に「除菌液」を置いておく。
- 5 ボール、用具（点示版など）、机、スコアラーの椅子、は試合毎に消毒をする。ベンチで使用する椅子をセット毎に消毒をする。
※ 除菌をする役員等を配置する。
※ 大会本部またはスコアラーステーブルの後方などにゴミ袋を準備し、除菌したゴミを捨てるようにする。ゴミ袋を大会本部及びスコアラーステーブル後方に置いておく。
※ 除菌の際は、手袋を付けて、除菌ウェットティッシュを使うか、除菌剤を使用する場合はペーパータオルを使用する。
※ 使用した手袋はゴミ袋に捨て、手袋を外した後、手指を除菌する。
- 6 敗者チームが審判をする場合はマスク、手袋を着用し、電子ホイッスルを使用する。
ラインジャッジ及び点示をする場合もマスク、手袋を着用する。
使用した手袋は、大会本部またはスコアラーステーブルで外し専用のゴミ袋に捨てる。使いまわしはしない。手袋を外した後、手指を除菌する。
※ ゴミ袋を大会本部及びスコアラーステーブル後方に置いておく。
- 7 大会役員が電子ホイッスルを使用して審判する場合もマスク、手袋を着用する。ホイッスルカバーを使用する場合は、手袋は着用する。
※ ホイッスルカバーを使用する場合、選手が質問に来た場合はマスクを着用する。
審判員はマスクを携帯する。
※ トスをするときから審判員はマスクを着用する。
- 8 記録員は、マスク、手袋を着用し、筆記用具は試合毎に消毒をする。

- 9 役員の筆記用具を使いまわしはしない。共有して使用する場合は手袋着用し、細目に消毒をする。
- 10 役員控室（テント中）ではマスクを着用し、密にならないようにする。
また、食事をするときは無言で食事をする。食事をした後は、机を消毒する。タッパーなどに入れた食べ物は持ち寄らない。
- 11 トイレから出る場合は、手洗い・手指を消毒する。控室に戻るやアリーナに入る場合は、手指を消毒してから入る。
※ トイレ内など手洗い場には、ポンプ型の除菌液を置き、ペーパータオルを置く。また、ペーパータオルを捨てるゴミ袋を設置する。
※ アリーナ入口、控室入口に除菌剤を置いておく。
- 12 大会終了後、アリーナで使用した用具、控室の机、椅子を消毒する。持って帰る用具はすべて除菌をする。
- 13 鼻水、唾液などが付いたごみは、ビニール袋に入れて密閉して縛り、ゴミを回収する人は、マスク、手袋を着用する。また手袋を外した後は、石鹸と流水で手を洗うか、手指消毒薬を使用するかのをいずれかを行う。

チームの対応

★マスクを持参すること（参加受付や着替え等のスポーツを行っていないときや会話をするときはマスクを着用すること）

★こまめな手洗い、アルコール等による手指消毒をする。

★他の参加者との距離（できるだけ2mを目安に、最低1m）確保し、食事をするときは、無言で食事をする。

- 1 監督・選手・審判との握手は行わない
- 2 試合のあいさつはネット付近に駆け寄らず、エンドラインに並んだ状態であいさつをする。
- 3 試合中の給水ボトル等は共用せずに間隔を空けて置く。給水前には手指消毒をする。
- 4 試合前円陣やベンチでの集合時、できるだけ密集・接触をさける。
- 5 競技中に靴底を触ったりしない。また、ハイタッチやネット際での相手に向かった発声は控える。
- 6 セット間に支柱やネット、得点板等の消毒作業や換気をするので、セット間の時間が延長されることもある。
- 7 チームベンチの座席はチームが除菌・消毒をする。あらかじめ消毒液を持参すること。
- 8 チームスタッフもマスクを着用する。控えの選手は、ウォームアップエリアで密を避け、極力大きな声を出さずにマスクを着用する。
- 9 鳴り物やメガホンを使った大声での応援は禁止し、拍手のみの応援とする。また、「密」を避けるために、観客席も間隔を開けて座り、必ずマスクを着用する。
- 10 ボールペンは、使用者がそれぞれ自分のものを使用する。
- 11 自身の汗を拭うタオルと、フロアの濡れを拭き取るタオルは別の物を使用する。
- 12 鼻水、唾液などが付いたごみや使用済のテーピングなどはビニール袋に入れ密閉して縛り、各自で自宅へ持ち帰る。会場へは一切のゴミを廃棄してはならない。
- 13 チームは自分たちが使用または利用した座席など帰る前に除菌・消毒をすること。
- 14 大会終了後2週間以内に新型コロナウイルス感染症を発症した場合は、主催者に対して速やかに濃厚接触者の有無等について報告する。
- 15 大会の前後のミーティングにおいても、三つの密を避ける。
- 16 大会前後での懇親会の開催を控える。

5月5日 追加事項

- ・食事の前に手指を除菌する。
- ・食事のときは黙食を徹底する。（役員も同様）
- ・食事をする前、食事をする場所を除菌する。また除菌した後、テーブルなどを除菌する。
- ・試合中コート内を含めて声を出さない。
- ・タイムアウトやセット間、競技者交代時の手指除菌またボールの除菌する。

床に飛沫が飛んで、スライディングをしたときユニフォームに飛沫がついている可能性があるため

- ・ユニフォームを着替えた後、手指の除菌をする。

- シューズ底を触らない。シューズ底の除菌、シューズをしまった後手指の除菌する。
- 洗濯するときにユニフォームを触ったら直ぐに除菌をする。